

76 しお みち さん しゅう あし すけ まち な
塩の道・三州足助の町並み

▶愛知県足助町



データボード 76

- ① 愛知県足助町大字足助字石橋
- ② 延長300m、幅員2m
- ③ 石垣、民家、土橋など

足助町は西三河の山間部にあり、古くから尾張三河の太平洋岸と中部山岳地帯を結ぶ交通の要地として栄え、また伊奈街道をはじめ、多くの街道が分岐していたところである。

足助の町は南信州への塩の道として知られているところでもあり、その起源は極めて古いということである。

江戸時代から明治時代にかけては宿場町として、在郷の商業町として大きく繁栄し、現在も立派な町並みを残している。最近も古い町並みのある町、生きた民俗資料館「三州足助屋敷」のある町として知られている。